

知りあひ

定算本 手まつていても

申の人は夏初す

知りあひは 定算は手まつていあひ

ふそとに へつたり す

ここも

商店の多いころは

しらすに 知りあひが多くなつた

今は 手つたに多く商店が 手くまつてしまつた

今は 左れに びうおめがうあひ

身中 尺くじ 人生 期に存つてしまつた

ぬき 一本まつていたせ伍

産地 産の 新鮮な やさい たの 志所

知つていゝ ても 多すぎあひ

どこで 多い やさい あるの

と 教えて もうつた の 町の 酒やさん

商店が 方くまつていゝ 此の 地は

テンヤ やさん かいすい

その 酒やさんの 紹介が 存んでまじあひ

の テンヤ やさん かし 工務 こと かんやせ

台のむことか出来た

道路に 花をくまなくをみわたす

工務店の社長に

白アリがでて南南の「台所」を喰ひくわい

習アリ けいけい たすけてもらうに

最近の知りあひは

グイウウ ガーテニニケ

昔のうそやさん

物ずかやさん も自分では出来た

うそやさん も会社組織にうつって

情報紙の系

少しづつ 知りあひが出来てきた

それと仲のよい 知りあひが出来た

2024
6/12